

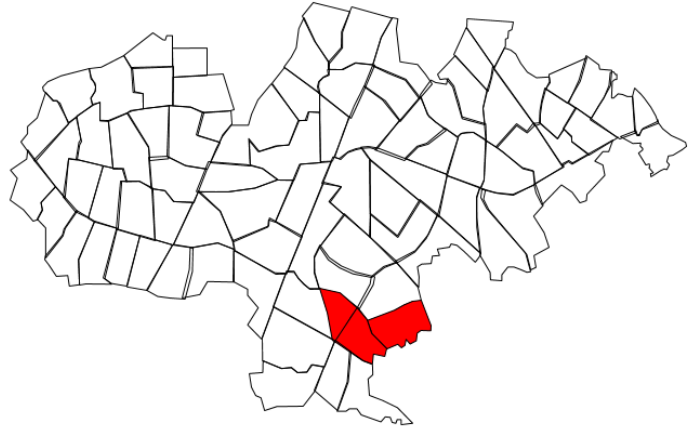
平成 30 年度「わが街ひすとおり」基本情報

◆ 雑司が谷（一丁目～三丁目）

1. 町名の由来

雑司が谷の地名は古く、その起源については幾つかの説がある。

- ①法明寺の雑司料であることから
- ②小日向金剛寺の雑司料であることから
- ③元弘、建武の頃、京都の朝廷で後醍醐天皇に仕えた北面の雑司、柳下若狭助、長島内匠助、戸張平次左衛門尉等が南朝衰退を嘆いて官を辞し、都落ちしてこの地に移り住み、以来その子孫も村民として残ったから
- ④郡領などの身分のある人の子息の子を指している曹司からきた地名で、そうした子孫のはじめた土地だから



現在までのところ、古文書・記録に雑司が谷の名が見えるのは、永禄 2（1559）年の『小田原衆所領役帳』が初めてだが、諸説の当否については定かではない。

また、古書により、「曹司谷」（『江戸雀』『江戸名所記』）、「僧司ヶ谷」（『御江戸図説集覧』）、「雑司ヶ谷」（『遊歴雑記』）、「雑司谷」（『江戸名図会』）、「さらには「蔵主ヶ谷」「雑土ヶ谷」（『新編日本風土記稿』）などさまざまな文字が記されている。

いずれにしても鎌倉時代以後に起こった地名であり、「雑司ヶ谷」に一定されたのは、徳川八代将軍吉宗が放鷹のために立ち寄った時、「雑司ヶ谷村」と書くべしとしたからであると伝えられている。

昭和 41 年の住居表示実施の際、「雑司ヶ谷町」から現在の「雑司が谷」に町名が変更された。

※鬼子母神（きしもじん）の「鬼」は、角のない漢字だが、表示できないため、「鬼」という字をあてる

2. 基本データ

面積	40.4ha	区の平均
人口	9,018 人	人口割合
14 歳以下の人口割合	9.1%	8.8%
65 歳以上の人口割合	20.6%	20.1%
外国籍住民割合	5.4%	10.1%

（平成 30 年 1 月現在）

3. 地理

北側は南池袋地域、西側は目白地域、南側は高田地域、東側は文京区に接している。



4. エリア内の公共施設や主なスポット

施設名称	住所
雑司が谷文書倉庫	雑司が谷一丁目34番5号
豊島区立雑司が谷区民集会室	雑司が谷一丁目22番5号
豊島区立雑司が谷保育園	雑司が谷一丁目22番5号
豊島区立雑司が谷旧宣教師館	雑司が谷一丁目25番5号
旧高田小学校	雑司が谷二丁目12番1号
豊島区立雑司が谷体育館	雑司が谷三丁目1番7号
ぞうしがや こどもステーション	雑司が谷三丁目1番7号
雑司が谷地域文化創造館	雑司が谷三丁目1番7号
豊島区立教育センター	雑司が谷三丁目1番7号
雑司が谷一丁目公園	雑司が谷一丁目36番3号
雑司が谷公園	雑司が谷二丁目11番8号
雑司が谷みみずく公園	雑司が谷三丁目15番20号
雑司が谷二丁目四つ家児童遊園	雑司が谷二丁目1番6号
千登世橋自転車駐車場	雑司が谷三丁目1番7号
雑司が谷案内処（豊島区雑司が谷情報ステーション）	雑司が谷三丁目19番5号
雑司が谷三丁目寄付受領物件	雑司が谷三丁目1番

主なスポット	住所等
清土（せいど）鬼子母神	文京区目白台 2-14-9
平和地藏	雑司が谷 3-15
雑司が谷鬼子母神堂	雑司が谷 3-15-20
大門ケヤキ並木	雑司が谷 3-16-19
本納寺	雑司が谷 3-19-14
大鳥神社	雑司が谷 3-20-14